

記入例

※令和6年度中に終了した元請工事がない場合は、報告書の提出は必要ありません。

様式第7号

労働保険
一括有期事業報告書（建設の事業）

事業主控

2枚のうち 1枚目

労働保険番号	府県 所管 管轄		基幹番号		枝番号		請負金額の内訳				② 労務費率	③ 賃金総額																
	x	x	1	0	1	6	0	0	1	0			1	0	0	0	0	0	0	0								
事業の名称	事業場の所在地		事業の期間		① 請負金額の内訳				② 賃金総額																			
〇〇ハイツ新築工事	〇〇郡〇〇町 〇〇-〇		29年 4月 1日 から 6年 9月 30日 まで		④ 請負代金の額 94,500,000				⑤ 請負代金に 加算する額 0				⑥ 請負代金から 控除する額 0				⑦ 請負金額 94,500,000				23				21,735,000			
(平成27年4月1日～平成30年3月31日工事開始分)	(小計)		年 月 日から 年 月 日まで																									
××邸新築工事	××市 ××-××-×		6年 4月 1日 から 6年 9月 30日 まで		20,000,104												23				4,600,023							
△△邸増築工事 他8件	△△市 △△-△-△		6年 5月 1日 から 7年 3月 15日 まで		35,009,310												23				8,052,141							
(平成30年4月1日以降工事開始分)	(小計)		年 月 日から 年 月 日まで																		55,009,414				12,652,164			
事業の種類	35 建設 (建設建築物設備工事業を除く)		計		149,509,414																149,509,414				34,387,164			

前年度中(保険関係が消滅した日まで)に廃止又は終了があったそれぞれの事業の明細を上記のとおり報告します。

令和7年 6月 13日

〇〇 労働局労働保険特別会計歳入徴収官 殿

(注意)
社会保険労務士記載欄は、この報告書を社会保険労務士が作成した場合のみ記載すること。

郵便番号(XXX - XXXX)
電話番号(XXX - XXX - XXXX)
住所 〇〇市 〇〇 〇-〇-〇

株式会社 〇〇工務店
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇
(法人のときはその名称及び代表者の氏名)

社会保険労務士 記載欄	代表者 氏名	電話番号
----------------	-----------	------

開始時期が平成30年3月31日以前の工事の区分誤りに注意してください。開始時期の年度により保険料率が異なります。

請負金額500万円未満の工事は取りまとめて記入できます。

平成27年4月1日以降に開始した工事については、請負金額から消費税額を除いた金額を記入します。

様式第7号(第34条関係) (甲) [別紙]

2枚目以降は別紙を使用してください。

労働保険

一括有期事業報告書（建設の事業）

事業主控

2枚のうち 2枚目

労働保険番号	府県 所管 管轄		基幹番号		枝番号		請負金額の内訳				② 労務費率	③ 賃金総額				
	x	x	1	0	1	6	0	0	1	0			1	0	0	0
事業の名称	事業場の所在地		事業の期間		① 請負金額の内訳				② 賃金総額							
××邸内装工事	××市 ××-××-×		6年 4月 1日 から 6年 5月 31日 まで		6,000,000								720,000			
△△邸内装工事 他10件	△△市 △△-△-△		6年 4月 10日 から 7年 3月 15日 まで		22,000,700								5,060,161			
(平成30年4月1日以降工事開始分)	(小計)		年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
			年 月 日から 年 月 日まで													
事業の種類	38 建設建築物設備工事業		計		(6,000,000) 22,000,700								(720,000) 5,060,161			

賃金で算定した工事は、このようにカッコ書きで記入してください。

賃金で算定した工事を含む場合、上段は賃金で算定した合計(小計)額をカッコ書きで、下段は請負金額による賃金総額の合計(小計)額、その下の欄外に上段と下段の合計(小計)額を記入してください。

請負金額500万円未満の工事は取りまとめて記入できます。